

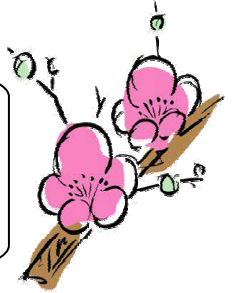
編集長:未来予報家



自殺について考える

—原因究明と対策の検討—

我が国の自殺者数は10年連続で3万人を超えています。警察庁の自殺統計資料によれば、平成10年にはじめて3万人を超え、その後、横ばい状態です。依然として高位で推移していると言わなければなりません。私は自殺の原因の3分の1は貧困にあると考えています。しかし、貧困だけが自殺の原因ではありません。うつ病とかほかの疾患も自殺の一因と言われています。現代社会のように世界経済のみならず日本経済が立ち行かない時代では、自殺が減らないのも無理はないと思います。そこで私はその対策として無料住宅をたくさん建てるべきだと思います。生活保護を受給するには、住所が必要だからです。そうすれば自殺者が3万人から2万人に減るものと考えています。あしからず



VOL3

「将来へ向かって」

ペンネーム もっくん

僕は、現在、病院の横にある「あゆみハイツ」というグループホームに住んでいます。僕の1週間はとても忙しいです。月・水・金は人工透析を午前中に4時間受けたあと、午後から訪問看護の方が部屋に来て掃除や薬の確認をしたりします。火・木・土はデイケアに行って料理などの活動を頑張っています。毎日自分でもよく頑張ってるなあと思います。でもここに来るまでにはいろいろなことがありました。

19歳の頃、突然イライラして裸足で家を飛び出してしまい車にはねられそうになったのを父親から助けられました。なぜかわからないけどイライラしていたのです。ただ、裸足だったのでアスファルトで足の裏が少し熱かったことだけは今でもはっきり覚えています。

こんなことがあったのでK市の精神科の病院に4年間入院し、それから別の病院に転院しました。入院中のことはあまり覚えていません。そして2年ほど経った頃から腎臓が悪くなって、先生から「点滴だと毎日何時間もしなないといけない。透析なら2日に1回。」と言われたので透析を受けることにしました。しかし、透析を受けるためには血液をちゃんと流すための手術をしなければなりません。えー！！手術するの？」と思いました。本当は手術をしたくなかったけれどあきらめて先生の言うとおりにしました。それから2日に1回透析を受ける日々が始まったのです。しかし、長期間、何年も透析を受け入れてくれる病院が自分の地元にはなかったので一本松すずかけ病院を紹介され、この土地にやってきました。ふるさとから離れ少し寂しい思いをしながら透析を繰り返す2年半の入院生活でした。ここで、透析について少し説明をします。腎臓が悪くなると体の水分を調節することが難しくなるので透析をして基礎体重まで水を引いて調節したり、本当なら体の中の悪いものをおしっこで出すのですがそれも代わりにやってくれたりしています。そのため僕は普段あまり水分を取ることが出来ません。1日にペットボトル1本分の500mlしか取ることが出来ないのです。

そして、去年の夏ごろから病院のスタッフと話し合いながら退院の準備をしていきました。地元に戻りたい気持ちもありましたが、透析をしなければならないこと・身の回りのことを自分で行えるようになるために、ということで退院後はグループホームへ入居することになりました。「ひとり暮らしをしたこともないし、田川はぜんぜん知らない土地だし、エッチな本は借りられなくなるし」など、たくさんの不安がありました。特に食事が大変でした。自分は透析を受けているために水分や食事の制限があります。デイケアに行く日は食事が出るのですが、それ以外の日は自分で準備をしなければなりません。最初はどうやってご飯を炊いたらいいのかすら知りませんでした。そんな時に、グループホームの世話人さんや透析・訪問看護のスタッフにーから教えてもらい、デイケアでも料理グループに入って練習をしました。

まずはご飯を炊くことができるようになり、そして味噌汁を作ることができるようになると、次はたまご料理です。次第にレパートリーが増えていきました。

今ではカレーの煮付けを作れるのが自慢です。「カレーと言ってもカレーライスじゃないですよ」

・・・冗談です・・・

グループホームに入居して10ヶ月経ちます。最初はとても不安だったのですが、デイケアでは料理やパソコンなどいろいろな活動に参加しています。この前ソフトボールをしたのがとても楽しかったです。透析をしているとあまり激しい運動は出来ないのですがキャッチボールやバットイングに誘ってくれてとてもうれしかったです。また、話をしてくれるメンバーやスタッフも増え、今では冗談を言って話しかけてくれるひともいます。グループホームにいる時は世話人さんにエッチな話や冗談を聞いてもらいます。世話人さんが帰って夜になっても隣のトイレの水が流れる音が聞こえてきたりすると「みんないるんだ」と安心して、ゆっくりとコチ亀を読みます。透析や訪問看護のスタッフにもいろいろ教えてもらったり話を聞いてもらったりしています。今は安心して充実した日々を過ごしています。こんな風に僕はいろいろなひとから支えられているんです。

僕には夢があります。

ひとつめはグループホームを卒業してアブリコットハイツというアパートでひとり暮らしをすることです。ひとり暮らしまではあと50パーセントぐらい頑張れば出来るようになると思います。お金の管理や掃除・洗濯、バスや電車の乗り方など頑張るところはまだたくさんあります。でもこの前、世話人さんから「〇〇君はお金の管理がだんだん出来てきたし、グループホームのミーティングでは積極的に質問したり、他の入居者に優しい言葉をかけたりしている。とても成長しているよ。」と言われた時には照れたけど、ほめられてとても嬉しかったです。

もうひとつの夢は、日帰りでもいいので電車とバスを乗り継いで遊園地に行くことです。誰と行くかは秘密です。でも僕はとても方向音痴なのでたぶん迷子になるでしょう。・・・冗談です・・・

最後に僕がみなさんに伝えたいことは、世話人さん・訪問看護や透析のスタッフ・デイケアのスタッフやメンバーなどいろいろなひとが僕を支えてくれているということ。そしてそれがとてもチカラになり安心して夢に向かって頑張っているということです。これからも将来へ向かって頑張っていきたいと思います。

2009年11月21日 ありがとうございます。

ワンポイントポエム

天使の羽を休める術も知らず、働きづめの君をどうにかして癒してあげたい。僕は君にとって素晴らしい心でいたい。その代わりに僕のことを心を底から愛して欲しい。とても寂しがり屋の僕を・・・

(ペンネーム、ハート)

